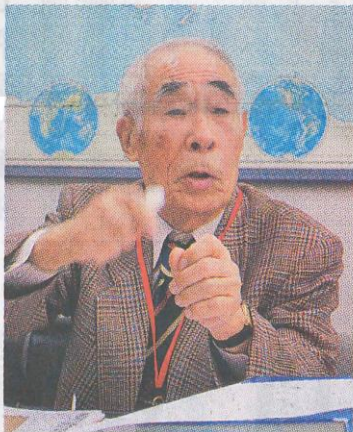


# 水産加工振興に私財投じ賞を設置

## 「今忠賞」が決定 5社に奨励賞 1人に功労賞



思いを語る今井氏

「いまちゆうさん」の愛称で知られる今井忠氏（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

### 今井氏「水産加工振興の一助に」

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

第1回今井忠水産加工振興賞

受賞者	
奨励賞	北日本水産物(株)(北海道増毛町)
	(株)道水(北海道函館市)
	イシオ食品(株)(北海道函館市)
	石巻金華ブランド委員会(宮城県石巻市)
功労賞	(株)鴨安商店(茨城県神栖市)
	笹谷正幸氏(株)マルサ笹谷商店会長

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

受賞選考は、中立性を確保するため、高成田享（元水産庁課長、元マルハ（株）現マルハニチロ（常務）が私財を投じて設置した「今井忠水産加工振興賞」の第1回受賞者が25日、発表された。受賞者は北海道、東北地区の水産加工業者を対象に選考され、奨励賞に「北日本水産物」など5組と功労賞1人が選ばれた。

元水産庁職員

## 今井忠氏が創設

水産庁水産加工対策室長や遠洋課長、マルハ（現マルハニチロ）常務などを歴任した今井忠氏が25日、東京都内で会見し、「今井忠加工振興賞」の創設と、第1回受賞者を発表した。今井氏が水産加工業の振興を目指し、私財を使い表彰するもの。今後の活躍を期待する「奨励賞」（賞金200万円）に4社1団体、これまでの活躍をたたえる「功労賞」（100万円）に1人を選定。合計1100万円の贈呈を決めた。



# 水産加工振興へ私財投じ制度

## 北日本水産物らに奨励賞 功労賞に笹谷商店会長

「奨励賞」は、カズノコのブランド向上に努める北日本水産物（北海道増毛郡）、地場産のイカやカズノコの販路拡大に寄与する道水（北海道函館市）、原料にこだわりイカ加工に取り組むイシオ食品（同市）、金華サバなどのブランド化に尽くしてきた石巻金華ブランド委員会（宮城県石巻市）、カタクチイワシなどの加工品を地域の名産品に仕立てた鴨安商店（茨城県神栖市）に贈る。

「功労賞」には、フィッシュミールや冷凍すり身の加工場拡大、イクラ・タラコ加工品の販路開発に貢献したマルサ笹谷商店（北海道釧路市）

の笹谷正幸会長を選んだ。

受賞者選びは「客観的、中立な姿勢で受賞者を決めるため」（今井氏）、学者・メディア関係者4人からなる選考委員会が実施。今回は北海道、東北地区が対象だった。贈呈行事は3月以降に行う予定。

今後は年度に1度のペースで表彰を実施予定。次回からは北海道、東北地区以外も対象に加える。贈呈は3年ほど続ける予定としているが「私が元気なうちは続けたい。お世話になった加工業界への感謝を表しつつ、業界にエールを送れば」（同）。